

2024/9/27 議事録

月日：令和6年9月27日（金）

場所：芹田公民館 講堂

時間：午後7時00分から

【議題】 芹田地区スポーツ大会の見直しについて

（別添、令和6年7月12日執行部会議の協議録を参照）

【冒頭】 岩下芹田公民館長

- ◇ 9月1日の野球大会が台風10号の影響で急遽、中止となりました。練習もされていたでしょうし、大変に申し訳なく思います。中止の判断としては8月30日を期限と定め、地公連会長、スポ推会長と事前に調整しながら、予報では金、土、日と雨の予報になっていたのので30日に中止と決定しました。その他、選手の中で台風に向けて職場待機を命ぜられた方もいて、2館が30日を前に棄権する事象も確認できましたので、早めの判断が必要と考え、午前中に中止と判断しました。準備いただいたスタッフの皆さんには申し訳ありませんが、ご了承願います。

議題の趣旨説明（岩下芹田公民館長）

- 「芹田地区スポーツ大会の見直しについて」を議題とします。7月12日に開催しましたは、執行部会議で本日のたたき台を作成する趣旨で行われたものが資料の「協議録」です。今年のバレーボール大会後に7名の怪我人が発生しています。資料の上から2番目の方以外は治療を終えていて、あと1名が治療中との状況です。この方は手術もされ、非常に重い怪我をされ、気の毒な状態にあります。この状況を長野市へ報告したところ、1大会で7名の怪我人は多い、芹田公民館としてスポーツ大会のあり方を考えて欲しいとの意見がありました。この意見に関わらず以前からスポーツ大会の見直しは地公連の課題であったので、執行部会議で協議をしたところです。そこで、協議録の3ページ目の「まとめ」のとおり、本日の会議となっていますので、この「まとめ」について意見をいただき、本日に決めることができればそれで良いし、各地域へ持ち帰り、地域の意見を聴きたいとの意見があればそれでも良いし、そうならば次回の館長会議で決めて行きたいと思えます。しかしながら、今年度中には地公連としての意見を集約したいので、期限を設けて進めたい。そして、地公連の方針を住自協、スポ推へ伝えて、3団体で見直し協議を進めてもらいたいと思えます。ご意見、よろしく願います。

【意見】

- 当館では運動会のスタッフの負担が多いので、ポッチャに取り組んでいます。バレーボール、野球、卓球の同好会はあって、今のまま残して欲しい方もいますし、全くスポーツをやらない方もいます。もうちょっと、new スポーツが地域に浸透していったら取り組んだ方が良くと思う。しばらくは両競技を並行して進めてはどうかと思うし、当館も今年からポッチャの普及に努めている。
- new スポーツに移行していくことは賛成です。しかし、直ぐに移行するには無理があると思う。今の競技をやめる理由も必要ですし、代替りの競技がポッチャだけでは困難と思う。行事を1年の1回との考えもあるが地域としては春と秋とかもやって欲しい。競わないとあるが地区の名誉をかけて取り組んでいる人もいる。順位をモチベーションにしている地域もある。争わない事が正しいかどうか私は分からない。その論議が十分にされていないと感じる。そのまま世間の流れに乗っかっちゃって良いのだろうか。怪我されるのは大変だけれども、new スポーツにすれば怪我は無いのか？リスクは「0ゼロ」では無いと思う。安直にすべてを変えて良いのですか？どんな競技でもルールはあって審判は必要になってくるので、そこも含めて考える必要がある。今年度中に new スポーツに移行する方針はそれで良いけれど、移行の時期をしっかりと決めないと何も定まらないまま時が流れて、芹田地区がスポーツを何もしない期間が生まれぬか危惧する。
- 協議録を見ると怪我防止のために new スポーツに移行するような議論になっていますが、前々からの課題で選手集めに苦労している、何でこの種目でのスポーツ大会にしないでならないとかの課題があって、そこに加えて怪我人が多いので変えていきたいとのスタンスできている。ですから、課題は怪我人だけではないので、以前からの課題を踏まえて、そのような観点でとらえて欲しい（岩下芹田公民館長）
- 選手に集めに苦労することは良くわかるが、今の年齢制限をもっと緩和して、大学生の参加を認めたりすれば集まるのでは。卓球のペアを若者と年配者を組ませるとかルールを工夫すれば集まると思います。今の条件で集めるのは大変だけれど、少し条件を緩和すれば、若い人がたくさんいる地域は強くなりますけど、それは条件なんで仕方ないと思います。
- 仕方ない？そう言えば何でも仕方ないのでは？（岩下芹田公民館長）
- そこに縛られてスポーツはダメと言っては……………。
- 意見は理解できますが、見直しをして欲しいとの意見は6割を超えています。そこをお考え下さい。このままやっ行くのはいいと思います。それでまた反省会の際にスポ推の方々が怒られるのですか？ここ3年間、いつもきつい意見が出されていて、「バレーボールなんか我々は選手を集められない。」とか言われて、スポ推さんも気の毒です。では、若い人に枠を広げれば本当に選手が集まるのですか？（岩下芹田公民館長）

- 出ると言う保証は私もできませんよ。
- では、これで決めていいのですか？それこそ、その意見で簡単に今のまま継続を決めて良いのですか（岩下芹田公民館長）
- 決めるということではなくて、なんでもかんでも new スポーツに移行することが正しいとは思わないので、過去にいろいろ条件を緩和してきていることは承知している。ただ、各地域とも全体で参加できる選手の数減ってきている。だから、条件もさらに緩和して若い人を呼び込む。でも、若い人も怪我しているから単純に若い人といっても怪我人は減らないかもしれない。
- 長野市からの助言があって、怪我防止は普段から運動を欠かさないとだそう。しかし、現実的にそんなスポーツ大会に向けた練習をすることはできないと思います。野球、バレーボール、卓球をやることに強いて、怪我をしてしまうことは本当に申し訳ないと思います。（岩下芹田公民館長）
- 質問します。体育館の事前予約ができなくなったってことは、バレーボールなどの練習ができないのですか？
- 本大会のみ事前予約ができるシステムなので、練習での予約はできません。（岩下芹田公民館長）
- それではほとんどのチームがぶつけ本番となりますね。バレーボールをやる体になっていないのに無理にやったら益々怪我人が増えるような気がします。
- 私もそう思います。（岩下芹田公民館長）
- 芹田地区で選手集めを頑張ってやっている。悪く言えば無理に出てもらっている。無に出るのでは無く、自分からやりたいと人が集まってそれで参加できるチームってどれくらいいるのでしょうか？バレーボール、野球、卓球で。
- 皆さんの気持ちを把握してないので、分かりません。協議録にあるように new スポーツへの移行することを前提とした場合、移行期間を設ける中で皆さんの考えを聴き、バレーボールなどをやりたいチームがどれくらいあるのかを集約して、まとめる側の立場で言わせてもらえば、今の競技を並行して実施していく方向しかないと考えています。それで、new スポーツをしたい館はそうしてもらおう。バレーボールをしたい館はバレーボールをやってもらおう。しかし、怪我のリスクについては責任をもってもらおう方法が、見直しに賛成する館と今のまま継続したい館との折衷案だと思います。繰り返しになりますが、あくまで見直しすることが前提にあることが条件です。（岩下芹田公民館長）
- 無理やりに集めてやっちゃうとダラダラして続いてしまうように思います。皆が良ければ無理やり集めるのはやめて、本当にやりたい人だけで参加してやるようなことを来年度だけ試みることはできないのでしょうか？
- バレーボールや野球などサークルがある地域は継続を望んでいると思う。無理して選手を集めているところは new スポーツを選べるように選択肢があることは大切である。

既存の競技と new スポーツを並行して実施して、サークル活動の延長でバレーボールなどをやりたいところはやってもらって、そうじゃないところは new スポーツをやることで無理に選手を集める苦痛が排除できるし、移行の方法としては良いと思う。

- 協議録の2ページに4種類とあるが、ポッチャ、スマートボウリング、ソフトバレーボール、その他に何があるのですか？
- この表現は若槻地区のものを例にあげています。正確な名称は覚えていませんが、ダーツのような種目など new スポーツにはいろいろな種目があります。(岩下芹田公民館長)
- 並行案について、集まれるところはバレーボール、野球、卓球をして、集まらない地区は new スポーツを行うことで移行できるような気がします、その辺はどうなんですか？
- new スポーツは当日、ぶっつけ本番でも十分に楽しめます。練習すれば上達はしますが、初めてやっても大丈夫です。そして、new スポーツで怪我人は出たことは無いということです。(岩下芹田公民館長)
- 個人的にはスポーツフェスティバルは良いと思います。
- 今までは選手だけが関わっていましたが、より地域の方々が参加し易い意味合いで、new スポーツは良いし、スポーツ大会のスローガンで親睦を深めましょうとあるのに、競技の勝敗ばかりになっていて、参加できない人たちが関わることができない状態があって、親睦に限られた人たちだけで行われている部分がある。new スポーツだったら小さなお子さんから年齢関係なく、参加できるので楽しめる。そこが利点であると思います。楽しいですよ。
- new スポーツを否定しているわけではない。多世代の方が出て楽しめるのですが、ポッチャって何人でやるのかなあ。
- 何人でもできます。3対3でも1対1でもできます。(岩下芹田公民館長)
- でも、どこかでレギュレーション決めなければいけないですよね？
- 何人用のレギュレーションはあります。(岩下芹田公民館長)
- でも、その日、芹田地区の大会としてやるとすれば、ポッチャは4人制ですとか、5人制ですとか、決めなければならない。
- レギュレーションを予め決めるのではなく、来てもらった人同士でその場でルールを決めて行うことができます。2対2でもできますし、その場でお互いが決める。順位を決めないのだからお互いの了解で成立します。(岩下芹田公民館長)
- その場合ひとつの公民館で用意する人数は何人なんですか？
- それはこれから決めていくのです。何人でも構わないと思います。(岩下芹田公民館長)
- 何人でも構わないって、それでいいんですか？
- 5人でもいいし、何人でもいいんです。あえて決めなくても良いのです。(岩下芹田公民館長)

- new スポーツに移行していく方向で会議をしているのだから、それありきで考えなければいけないと思う。今までの競技にこだわっているとしか思えない。
- こだわっているわけではありませんが、やるとしたらレギュレーションは決めなければいけないと思う。
- 決めないことが new スポーツなんです。なんでレギュレーションを設けなければいけないのですか？それは順位を決めるからでしょう。勝ち負けを決めるからです。引き分けでも構わない。相手が1人でも、こちらが2人でも両方が納得しておこなえばOKですよ。ポッチャはそれで成立します。(岩下芹田公民館長)
- フェスティバル方式で行うのか？対抗戦で行うのか？それはこれから決めて行くことなのだから。
- そう言うことです。(岩下芹田公民館長)
- 良く言われるのが new スポーツでは熱くなれないと言われますが、ここで体験したときも皆さん結構熱くなれました。決してスポーツのだいご味は失われることはないと思います。(岩下芹田公民館長)
- スポーツに怪我はつきものとはありますが、そのリスクを最小にするよう取り組みむことは重要なことだと思います。怪我だけじゃない、人集めが難しい。私の地域は800人程度で隣の栗田さんとは5000人くらい差がある。全体の17地区で考えてみればいろんなサークル、同好会があってやりたいことはたくさんありますが、「芹田地区の住民が一堂に会することができるのか。」ってことだと思います。北部班だけでこどもだけのフェスティバルを実施していて携わる地域の絆は深まるものがある。小さなエリアで進めることが可能であれば、その中で輪を広げられれば良いことですけれど。レギュレーションの話もでしたが、とにかく1回やってみましょうよ。同好会、サークルもないがしろしてはいけないので、それをどうするの？ってことで議論すればいいし、地域の中ではもう、バレーボールは参加したくないとの意見もあります。選手が足を怪我したのを見ればやめた方が良くと思います。野球になると若い人が「やりたい。」と言っている部分もある。それぞれの意見もあるので、全てを止めないようになりたいと思いますが、new スポーツ、いろいろ種目もある。当地区では子どもを中心にポッチャをやり始めました。熱くなるスポーツであるし、とても良いことです。おじいちゃん、おばあちゃんとの取り組みの中で、サッカーの球を足にぶつけてしまいまして、爪が真っ黒になってしまった。使う道具も考えなければいけないと反省をしています。うまくいったら継続しましょうよ。うまくいかなかったら反省してやめちゃうか次の人たちに判断してもらおう、それができるのが地域であると思う。ノルマが無いのが地域なんで、それぞれいろんな意見のものをリストアップして皆で考えていく方向に進めていってはどうか。それが私の考えと合致すれば素直に取り組んで行きたい。そう、思います。
- 地公連の大会の良さは他地区と交流することであるし、その場を大切にしていかなく

てはいけないと思う。それにはどうしたら良いかなんですが、人集めに苦労している点では私の地区もなかなか集まらない。体育部長は大変に苦労している。それで、new スポーツになったときに大勢集まるかと言うと不安な部分もあります。皆さんが参加し易い交流の場を設けなければいけないと感じていますが、正直、具体的な方法が私にあるわけではありません。いままでのサークル、同好会の方々の気持ちもありますよね。そこでスポ推委員が居ますよね、今の競技が変わったらこの方々はどうなる？のですか。また、new スポーツに関わってもらえると理解して良いのですか？そこも良く分からない。スポ推さんの協力を得てスポーツを含めた地域の活性化を考えていかなくては。そこを整理して、目的は“助け合う……”とある。この目的を達成するにはどうすれば良いか根本から考える必要がある。皆で意見を出し合って行かなくてはと思います。

- 怪我について、年齢に関係なく体が大切であると思います。これだけ大きな怪我が続いているのであれば、怪我のリスクの少ない new スポーツへ移行するのは、し方ないことだと思います。移行を進めるにあたって、どんなスポーツであるか地域の皆さん分からない状況ですので、体験会とかの機会を増やして欲しいと思います。
- 良く分からないのが実情で、new スポーツを公民館で体験したことがあります。規模が小さいのもっと大きい範囲で行えば楽しいものになるのではとの印象をもちました。前回のポッチャ体験会で確かに障害はあるのですが、やること事態はとても楽しかったのでフェスティバル方式でやるのは個人的には良いと思うが、今までの3つ競技に参加したい方々が居るとすれば、その対応も考えなくてはと思いつつ、私の地区の体育部も選手集めをするのが嫌だから体育部になりたくないとか、何年か前にバレーボールで怪我された方とかねん挫された方がいるので、ケアの手続きとかあるので、面倒とかでは無いのですが負担になりますし、少しずつ移行できることを望みます。
- 私の地区の場合、バレーボールは男女とも1人も出ません。今年は男子1名が出ました。new スポーツへの移行は賛成です。最悪の場合は役員を集めてでも出られますので。しかし、あれもこれもと種目を増やすとスタッフの人も大変ですし、少しずつ変えていってはどうですか。あと、町の予算もあるので、それでいろいろとあると思うので、そんな感じです。
- 皆さんの意見を聞いて、新しいスポーツは良いけれど、途切れさせてしまうと先が無いと思う。ひとつ止めればそれに参加する人が居なくなる。年齢的にもそれに参加できる人しか関わってこない。新しい人が来れば繋がっていくのですが、それも難しい。人数が少ないから怪我しないってことも無い。それなりの準備体操とかも必要になってきます。集めた館で練習を重ねる、回数を重ねて、怪我人が無くなると思います。歴史のある3競技は技術も必要で失くさない程度の大会をしたいと思う。
- 今の3競技について、出られる館だけ参加して、出場したい人が居ればどこかの館に入れてもらうような形にして、そこに new スポーツを加えるようにすればどうでしょ

う。スポーツ大会は1日だけの開催ですか？それとも2日？規模にもよりますが。

- 詳細は何も決まっています。(岩下芹田公民館長)
- 春と秋の2回とか、イメージ的にはそれが良いと思う。私の地区も3競技のサークル、同好会もあって盛んに活動されている。できる地区だけ参加して、あとはnew スポーツをやって年に数回行う。それを数年かけて定着させていってはどうか。
- この課題は何年も前から議論されてきた。いつかは移行するなり変えていかななくてはならないと思います。地域の交流、ふれあいを目的としているので、誰もが参加できる大会が一番好ましいと思います。今の3競技をできる地区は継続してやってもらってその中で対抗してもらっても良いですし、その競技に出場したい方々は中のチームに入れてもらって参加する方法があると思う。あとはnew スポーツの方へ出てもらって、子供からお年寄りまでできるnew スポーツを楽しんで、だからしばらく並行してやる方向でやってみて、反省点を考えながらいろいろ変えて決めていけば良いと思う。まずは計画を練って、やってみてはどうかと。
- 変更するのは良いのですが、異論はありません。地公連にも予算があると思います。野球を6チームでやります、でもグラウンドは借りなければならぬし、人を集めて設営をしなければなりません。バレーボールにしてもしかり、男女同日に行いますが、女性が6チーム、男性が4チームになっても会場は手配しないとならない。だから日程を決めなければなりません。来年の分はいつ申請出すのですか？2月ですか？
- 今年の11月中です。(岩下芹田公民館長)
- 並行して行うにしても、3競技、11月までに申請をし、会場をとらなければなりません。new スポーツの会場も併せて確保しなくてはなりません。今の体育部長は3競技を行うにも大変で、new スポーツを行うのに更に人集めをすることになるのですか？
- 例えばバレーボールとnew スポーツを並行するとして、バレーボールをやりたいと手を挙げた館はバレーボールに専念してもらおう。(岩下芹田公民館長)
- それはポッチャにでちゃいけないってことですか？
- でちゃいけないことはない。バレーボールをやりたいと手をあげてるのですから、そっちに専念してもらおう。それ以外の館はnew スポーツに従事してもらおう。両方に携わるのは大変です。(岩下芹田公民館長)
- それでは地域間交流はできませんよね。
- それを言いますと、何もできない。できる方向で考えている。言われるとおり両方は無理です。並行していくのなら私はその方向しかないと考えています。交流ができるかできないか、やってみましょうよ。ただし、基本のベースはnew スポーツです。移行の機関として既存の競技を残すのです。ですから、バレーボールに従事した体育部長はその運営をする。new スポーツに手をあげた体育部長はこっこの運営をする。(岩下芹田公民館長)
- できるところはいいんじゃないですか？

- できるって言ってもらえば良いと思います。しかし、運営側の立場から両方の運営を強いるのはできません。(岩下芹田公民館長)
- それは任せてもらえば良いと思う。両方出たいと思う館もあるので、それはそれで良いと思う。
- でも、両方は無理がある。バレーボール見ながら new スポーツに関わる体育部長は大変ですよ。(岩下芹田公民館長)
- 副部長もいますから、大丈夫です。
- 繰り返しになりますが、両方をお願いするのは運営サイドからは言えません。(岩下芹田公民館長)
- それでも両方を希望する地区は出てくると思います。
- それは地区の判断で副部長をあてるなどは各地区の判断に委ねます。運営側として両方を見てみたいなのは負担をかけるので言えないです。(岩下芹田公民館長)
- 並行とは、バレーボールと何とか、野球と何とかとか分けて進めるのですか？
- そこは決めていない。しかし、今の競技をやりながらとなると野球をやって一方でポッチャをやる、卓球をやりながら片方で何かやる。そういうことになると思います。(岩下芹田公民館長)
- それは同じ日ですよ。
- 同じ日です。(岩下芹田公民館長)
- 場所はどうなります？
- それは、大きな会場を必要とすればホワイトリングしかないと思います。野球は犀川グラウンドでやって、new スポーツをやるならここ(芹田公民館講堂)で良いのでは。(岩下芹田公民館長)
- new スポーツはほとんど屋内なのですか？
- 屋内だと思います。(岩下芹田公民館長)
- こういうこと言っちゃいけないけれど、1番の問題は体育部長に運営を任せると書いてある。そうすると体育部長へのなり手が居なくなると思う。今でも公民館の役員を探すことが大変なんです。
- それは今と一緒にですよ。(岩下芹田公民館長)
- 今はスポ推がほとんどやっている。
- ですから、スポ推も分かれて(既存の競技と new スポーツ)もらいます。(岩下芹田公民館長)
- それは可能なのですか？
- 可能か可能じゃないか私は分かりません。それをこれから話し合うのじゃないですか？地公連としてこうやりたいと決めて、それから住自協さん、スポ推さんと話し合う予定です。それはできるかどうか分かりません。(岩下芹田公民館長)
- 変更の時期は来年度から？

- 決まっていないことをいろいろ申し上げたくないのですが、来年に実施するのは無理だと思います。来年の予定はこの11月に計画をつくらなければならないので、来年は今のまま継続するしかないと思います。今年度中に地公連の方針を決めて、その方針をもって3つの団体で話し合いをする。今後の詳細を決めていければと思います。移行に向けた期間を何年にするのかとか。試行期間を設けるのかとか。現実路線としてそんな状況になるのでは。皆さんの役員の任期を超えてしまうかもしれません。方針を決めなければ前に進められません。(岩下芹田公民館長)
- 私の地区もバレーボール、野球、卓球のサークルがありまして、各サークルが大会に向けて練習をしております。サークルの監督、コーチがいますので、その方の意見を聴いてみたい。今の議論の中の意向を確認したい。それはいいですか？
- その意見であれば、議論を持ち越しして良いと思います。(岩下芹田公民館長)
- サークル、同好会の意見も私自身が確認できていませんので、意見を聴きたいと思っております。時間をいただきたいのでお願いします。
- 来年度も今と同じ感じでやるのでしたら、研修会とかで new スポーツの講習会を実施していただきたい。
- はい、検討します。(岩下芹田公民館長)
- 会場が分散されるのならば、オンラインを導入してはどうか？
- そこまではできません。(岩下芹田公民館長)
- 持ち帰りの意見が出ましたので、皆さんも各地区へ持ち帰って、地区で議論して慌てずに今年度中に方針を決めていきたいです。それと来年の計画について、野球の9月上旬の実施は無理と思う。9月下旬にするとお彼岸と被ってしまいますし、それ以降になると運動会と重なる。9月末はどうでしょうか？とりあえず、案を作成して役員の皆さんにお示しします。ご検討をお願いします。(岩下芹田公民館長)
- 野球について、野球とバレーボールの日程を交換するような、バレーボールなら屋内だから9月上旬でもできる。そんなことできるのですか？
- スポ推さんに聞くと、それぞれの日程はいろいろな経過があってあの日程に決まったとのこと。変えても良いと思うので、改めてスポ推さんに尋ねてみます。6月に野球で9月にバレーボールで確認します。皆さん、それでいいですか？卓球と変えるの手もあります。11月に野球は寒いですね。(岩下芹田公民館長)
- 応援も寒くてだめですね。
- では、バレーボールと野球を入れ替える案で相談します。(岩下芹田公民館長)
- ありがとうございます。また、改めて臨時館長会議の開催は忙しいので、11月のスポーツ大会反省会の中で続きの議論を重ねたいと思います。体育部長さんをお願ひします。今日の議事録も作成して皆さんにお示しします。それをもって地区のお話をお願いします。できれば11月に決めていただければうれしく思います。11月22日(金)19時からです。